

特集

癌手術エキスパートになるための道

外科学において診療、教育、研究が重要であることは言うまでもない。そして診療の分野においては、医療倫理も含めた患者さんへの温かい対応、豊富な知識に基づいた適切また的確な判断、そして優れた医療技術は、それを支える大きな柱である。

特に外科医においては、手術手技も含めた高度な技術によって、その診療は遂行される。一方、これらの手術技術の修得は、多くの先輩から後輩への指導とそれによる経験の蓄積、そして学術集会や論文、さらには手術見学などの機会を通じた見聞によって、時を重ねつつ成し遂げられる。

これら手術技術の修得を、より速やか、かつ着実に身に付ける方策を、自身の経験を通して、もしくは自身が展開する教育法などの観点から、各分野におけるエキスパートの先生に、若き前途洋々の外科医への提言をご執筆いただいた。

本特集が、若き外科医もしくは若手外科医の教育に携わる先生方の「みちしるべ道標」となり、ひいてはわが国の外科医療のさらなる発展に寄与することを願うものである。